

家畜衛生だより

令和 5年 8月 4日 発行



ステップアップ 畜産!

西部農業事務所 家畜保健衛生課 (西部家畜保健衛生所)

〒370-0074 高崎市下小島町 233

TEL 027-362-2261、FAX 027-362-2260



～記事～

- ★第51回群馬西部牛共進会の開催について
- ★お盆期間中のBSE検査受付日程について
- ★ローリー乳における牛ウイルス性下痢 (BVD) の検査結果
- ★暑熱対策のポイント
- ★豪雨による堆肥や汚水の流出に注意しましょう
- ★輸入飼料を給与した牛の堆肥販売等にはご注意ください
- ★令和5年度ぐんまの和牛研修会動画の配信について
- ★畜産GAP研修会のお知らせ

～別添資料～

- ★JGAP(畜産)について



★第51回群馬西部牛共進会の開催について

牛の改良増殖を図り畜産の健全な発展に寄与することを目的に、本年も標記共進会を開催します。共進会は出品牛の順位付けのみでなく、情報交換や技術交流の場でもあります。農家の皆様におきましては、できるだけ多くの出品をお願いするとともに、出品されない方におきましても応援のほどよろしく申し上げます。

なお、本年は関東地区ホルスタイン共進会があるため、乳牛の部については月齢及び出品区分が例年と異なりますので、御注意ください。

開催日：令和5年9月20日(水)

会場：JAたかさき中川支店南側圃場(高崎市小八木町31-1)

出品区分：繁殖和牛の部 個体 5部、群出品2部 27頭、4組

乳牛の部 個体 11部(未経産5部、経産6部) 27頭

申込み締切り：8月23日(水)までに市町村を經由して申請書を提出してください。

本共進会は、第27回群馬県畜産共進会(繁殖和牛の部 10/16、乳牛の部 10/20)の予選会を兼ねます。

出品牛の衛生検査(ヨーネ病)を8月下旬から9月上旬に実施しますので、御協力をお願いします。

★お盆期間中のBSE検査受付日程について

死亡牛の牛海綿状脳症(BSE)検査は家畜衛生研究所にて実施していますが、お盆中の実施体制は下記のとおりですのでご了承ください。

8月						
10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)
受付	休み	受付	休み	受付	受付	受付

受付時間：午前9時～午後4時

所在地：家畜衛生研究所 前橋市富士見町小暮 2425-3

TEL：027-288-2106 FAX：027-288-2161

★ローリー乳における牛ウイルス性下痢（BVD）の検査結果

搾乳牛におけるBVDウイルス持続感染牛（PI牛）の摘発を目的とし、7月にローリー乳におけるBVDウイルス遺伝子検査を実施したところ、管内全ての酪農家において陰性でした。



PI牛ってどんな牛？
農場にいると何が問題なの？
私は検査していないけど大丈夫かな・・・



PI牛は、産業動物として不適な牛*なんだ。
奇形、虚弱、発育不良、不受胎等の繁殖障害、少ない乳量・・・。

そして、

大量のウイルスを鼻汁・唾液・糞尿に一生排出して、農場の感染源になるよ。

治療法はなくて、PI牛の子は100%PI牛になるから、
絶対に、飼ってはいけないよ。

ローリー乳での検査では、当然、乳用育成牛や肉用牛の検査は出来ていないから、
農場で下の様な状態がみられる場合、検査してね。
導入牛産子もリスクがあるので、検査をおすすめするよ！

慢性的に下痢や風邪症状の牛がいて、
牛群全体の調子が悪いな。

最近、死産や虚弱で
産まれる子牛が多いな。

発育の悪い牛や、
不受胎の牛が目立つな。

PI牛
BVDウイルスに対する免疫
を持たずに、BVDウイルスを
排泄し続ける

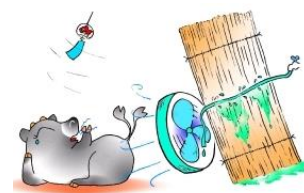


*罹患牛が存在する場合の経済的損失（頭/年間）
・BVD：5,057円
・ヨーネ病：5,167円（参考）
※飼養規模50頭の場合

（2002年報告）

★暑熱対策のポイント

今年の夏は平年より気温が非常に高く、猛暑日が続いています。残暑も厳しい暑さが続くと思われますので、しっかりと暑熱対策を行っていきましょう！



1. 牛舎内の風通しを良くする

同じ気温でも、**風速 2m の風があると体感温度は約 8℃下がります**。また、湿度を下げることも体感温度を下げる要因となります。換気扇などによる送風はもちろんですが、密飼いを避け、牛舎内を**整理整頓して風の流れを妨げない**ことが重要です。

2. 屋根から熱を防ぐ

牛舎内で最も高温になるのは直射日光を浴びている屋根であり、そこから牛舎全体へ熱が伝わっていきます。**屋根への散水、石灰乳や遮熱性塗料**などの塗布を行うことで、牛舎全体の気温を下げる事が出来ます。

3. 暑熱ストレスに負けない牛にする

新鮮な水を十分に飲める環境を確保し、**涼しい夜間に飼料給与料量を増やす**ことで健康な状態を維持しましょう。唾液の流出や発汗で失われる**ミネラル**や、病気への抵抗力を高める**ビタミンの補給**も重要です。毎日の観察で牛の異常を早期に発見することを心がけましょう。

★豪雨による堆肥や汚水の流出に注意しましょう

この時期は、雷雨等による集中豪雨が多発します。近年では、これまでにはみられなかった量の雨が短時間に降ることで、全国各地で甚大な被害が発生しています。このような雨水が堆肥処理施設や汚水処理施設に流れ込んだ場合には、周辺の道路や田畑へ家畜ふんや尿汚水等が流出する可能性が十分に考えられます。

流出を未然に防ぐためには、最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックし、事前に施設を点検し、必要に応じて補修するとともに、浸水のリスクを考慮して、防水・排水対策をお願いします。実際に被害が発生してからの復旧にかかる時間や労力は、被害防止のためのそれに比べ、甚大です。

★輸入飼料を給与した牛の堆肥販売等にはご注意ください

今年になり、県内のポット苗（トマト、ヒャクニチソウ等）において、堆肥中に含まれるクロピラリドが原因と考えられる生育障害が発生しました。

クロピラリドは、海外で牧草などに使われている農薬（除草剤）の成分です。この成分が含まれた輸入飼料が家畜に給与された場合、堆肥を通じて、トマト等のナス科、エダマメ等のマメ科、キクやシュンギク等のキク科などの生育に障害を起こすことがあります。

自ら製造した堆肥が、クロピラリドにより作物の生育障害を引き起こすか否かについては、生物検定を実施することで確認することができます。

生物検定の方法は群馬県畜産課のホームページに掲載されているチラシをご参照ください。また、必要な方には当課から郵送しますのでご連絡ください。

★令和5年度ぐんまの和牛研修会動画の配信について

令和5年度ぐんまの和牛研修会を令和5年6月21日に群馬県地域防災センターで開催しました。その時の研修会動画を群馬県「tsulunos」ウェブサイトに掲載しましたので、ご活用ください。

1. 公開時期

令和5年7月4日～令和6年1月31日

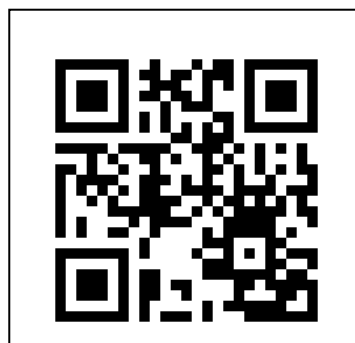
2. 内容

- ① ゲノミック評価を活用した新たな生産体系について(JRA事業の成果より)
- ② 第12回全国和牛能力共進会第8区(去勢肥育牛)出品対策
- ③ 県内肉用牛経営におけるICT機器導入事例—分娩検知システム「牛わか」—
- ④ 肉牛関連県事業について

3. 動画 URL

<https://youtu.be/MYurSAL5Sas>

ぐんまの和牛研修会動画
QRコード



★畜産GAP研修会のお知らせ

日時：令和5年8月31日(木) 14:00～16:30

場所：ぐんま男女共同参画センター 大研修室
前橋市大手町1-13-12(群馬県庁の裏)

内容：畜産経営における農作業安全について
家畜改良センター奥羽牧場(肉牛)での取組事例等

問い合わせ先：群馬県畜産課畜産振興係

TEL：027-226-3106

西部家畜保健衛生所 〒370-0074 高崎市下小島町233
TEL 027-362-2261(緊急時 24時間対応) FAX 027-362-2260

★ 畜産業を廃業された方に送付された場合は、お手数ですがご連絡ください。